

2019年度 運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

東新観光株式会社



1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- ① 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる。
- ② 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(Plan Do Check Act)を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に務める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

2. 輸送の安全に関する重点施策

安全を維持させる為には、ハードの安全対策はもちろん、ソフトであるドライバーの意識を常に刺激し、安全がすべての根幹であること、注意散漫にならないためにはどうすればよいか？を考えます。

1、重大事故の撲滅

2、全車に装着のASV（先進安全自動車）を最大限に活用する

3、軽微な事故を減らすため、うっかりミスを無くす

3. 事故統計

事故項目	件数
重大事故(速報)	0件
重大事故(30日以内報告)	1件 (高速道路上にて駆動系トラブルにより運行不能)
有責事故	0件
飲酒・疲労運転件数	0件
軽微な接触事故	5件 (物損)

4. 安全目標の達成状況及び施策

安全目標	目標の達成状況
重大事故・人身事故ゼロを継続する。 (※重大事故は速報を対象とする。)	件数0件を達成。
有責事故ゼロ運動	件数0件を達成。
だろー運転を撤廃して、かもしれない運転に徹する	全運転手が意識している。(常に周知) 安全性、事故リスク軽減に繋がっている。
速度超過、長時間運転をなくす	全運転手が意識し守れている。 デジタコの運行履歴をチェックし 違反がないかも確認し指導しています。

①車両安全設備の充実

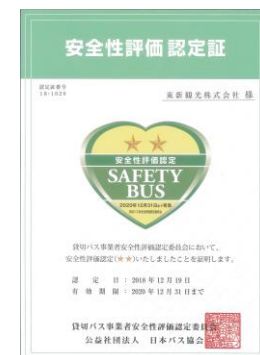
全車両にデジタルタコグラフ・ドライブレコーダー
モバイル・アイを設置完了しています。
来年度運転席側が映るドライブレコーダーを設置予定。

②従業員の健康チェック

年1回の健康診断受診。
SAS検診(睡眠時無呼吸症候群)の検査。
脳ドックを実施。

③貸切バス事業者安全性評価認定の更新

現在、安全性評価★★をいただいているので
安全により力を入れて★★★取得を目指します。



5. 輸送の安全に関する教育・研修

- ①年間教育計画に基づいた教育・研修の実施
(※実施回数はHPの安全情報、教育内容は年間教育計画に明記)

- ②冬季訓練：チェーン装着

- ③非常口からの脱出訓練・避難用具の確認等

6. 2019年度 輸送の安全目標

事故項目	件数
重大事故(速報)	0件
重大事故(30日以内報告)	0件
有責事故	0件
飲酒・疲労運転件数	0件
軽微な接触事故	0件

7. 2019年度 輸送の安全計画

- ①輸送の安全が最も重要であることへの意識徹底。
定期的な全体会議を開催し全運転手へ最周知し認識を深める。
- ②車両点検・設備・新規購入
輸送安全の為、常に点検及び整備を行い不備がないかをチェック。
少しでも違和感があれば報告する体制を作っております。
- ③情報を伝達及び共有
事故発生時は即対応できるよう緊急連絡体制に沿って対応する。
定期的に安全統括管理者は現場に赴き、運転手とコミュニケーション
を取ることで現状の確認や車両不備の報告漏れがないようにしています。
- ④教育・研修の充実
乗務員年間教育計画に基づき、計画的に教育・研修を行います。

8. 安全統括管理者・安全管理規定・その他

■安全統括管理者：代表取締役 生沼 建二

■別ページにて掲載項目

- ・乗務員年間教育計画
- ・安全方針・安全目標
- ・安全管理規定
- ・安全情報(平成31年度)